

平成 29 年 2 月 22 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間 ☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない 母子家庭の母及び児童、父子家庭の父(母が児童を懐胎した当時婚姻の届出をしていないが、その母と事実上婚姻関係と同様の事情にあった者を含む。)及び児童並びに父母のない児童に対し、医療費、調剤費及び診療・調剤報酬証明手数料の一部について助成金を支給することで、ひとり親家庭等の経済的な負担を軽減を図る。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状 昭和59年に千葉県ひとり親家庭等医療費等助成事業補助金交付要綱が制定。本市においてもひとり親家庭等の経済的な負担を軽減する必要があると判断し事業をスタートした。	④ 事務事業に関する課題・環境の変化 対象世帯は658世帯(H19)から725世帯(H24)に増えており、その後も増えている。 根拠法令等は特に変更なし(地方単独事業)	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等 特になし

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円
1.印刷製本費	11	ひとり親家庭等医療費受給資格者証印刷製本費
2.扶助費	8,581	ひとり親家庭等医療費扶助費
	0	
	0	
	0	
	0	
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	4,291	ひとり親家庭等医療費等助成事業費補助金
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度 増減理由	入院等助成件数1件当たりの助成金額が増えたことによる。
-------------	-----------------------------

手段	① 主な活動
	27年度実績(27年度に行った主な活動)
	扶助費 ・ひとり親家庭等医療費等を助成

③ 活動指標名		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
ア	医療費等助成件数(通院・入院・調剤) (平成25年8月1日受診分から子ども医療費助成事業対象の児童及び障害者(18歳～20歳)がいるひとり親家庭等を対象とした)	件	4,200	3,728	2,753	3,149	3,339
イ							

目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)
	対象意図 ・母子家庭の母又は父子家庭の父と18歳未満の児童若しくは父母のいない18歳未満の児童 ----- ・対象世帯の経済的負担を軽減
	対象意図

④ 成果指標名		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
ア	ひとり親家庭等一世帯当たり医療費自己負担額	千円	2.61	2.52	2.64	2.72	2.45
イ							

①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①				

優先度評価対象外

結果

④⑤		
⑥		
⑦⑧		
⑨		

結果

④⑤		
⑥		
⑦⑧		
⑨		

年度	ア
H24	2.60
H25	2.52
H26	2.64
H27	2.73
H28計画	2.45

評価内容	① 進捗状況													☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難												
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)																									
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ		数値減＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	成果 比較 動向	比	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度										
			成果指標イ			☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下			24年度	25年度	26年度	27年度	28計画											
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		入院に係る医療費助成件数が増えたため								ア	△ 0.34	△ 0.09	0.12	0.09	△ 0.27										
									イ																	
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取組む事項について記載)		時期	内容							今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()															
			例年とおり実施																							